

より良い就職活動環境を提供するキャリア支援センター キャリアサポート体制の充実を推進



▼新設されたセミナー室では、就職関連講座のDVD上映も予定されている。
◀広々としたスペースを確保し、利用しやすくなったキャリア支援センター。

依然として厳しい状況が続く就職活動。そのため、常磐大学・常磐短期大学では、学生たちにより良い就職活動環境を提供するため、さまざまな取り組みを行っている。その一環として行われたのが、キャリア支援センターの整備だ。これまで学生支援センターと分割して使用していたT棟地下1階のフロアを、占有スペースとして確保。ゆったりとした空間を創出することで、快適な利用環境を実現した。また、2カ所の個別ブースを設けるほか、必要に応じてハローワークが企業の求人情報を紹介するブースも設置。さらに、学生たちが自由に利用できるパソコンコーナーや、16人収容可能なセミナー室を新設するなど、より一層充実した利用環境が整えられた。

キャリア支援センターに在籍する職員は6人。個別の就職相談、履歴書やエントリーシートの添削、また、学生の希望に応じて模擬面接などにも対応する。また、外部のキャリアカウンセラーによるカウンセリングも週2回のペースで行われ、学生たちの就職活動を、さまざまな角度からバックアップしている。



キャリア支援センターでは、多様化する採用試験に対応する各種講座を開講している。その一つが、1年生から受講できる就職試験筆記対策講座で、数理と社会との2つの科目に限定し、基礎学力を養うことが目的だ。ほかにも、公務員試験対策講座や教員採用試験対策講座など、一般企業の筆記試験にも役立つハイレベルな講座を開講。1年生を対象にEQ検査を導入し早期から自己分析を行うなど、厳選採用が進む企業の傾向に対応している。

さらに、キャリア支援センターでは、求人票や企業パンフレット、問題集などさまざまな資料を取り揃え、多くの利用を呼びかけている。

FD 活動の「実質化」と「日常化」を推進

● 2011 年度 常磐大学 FD フォーラム開催

2011年度常磐大学 FD フォーラムが、常磐大学 FD 委員会の主催で2月14日に開催された。今回は、全教員の約80%が参加。FD 活動に対する関心の高さが伺われた。

これまでのFDフォーラムでは、教員たちのFDに対する理解の促進などを目的に、先進事例の報告や専門家の講演会などが行われてきた。しかし、FDが浸透してきている現在は、次の段階にシフトする必要がある。そこで、今回のFDフォーラムは「実質化」と「日常化」をキーワードとして大幅にプログラムを変更。各学科で現在行われているFD活動の事例発表をプログラムの中心とした。

事例発表は全学科が実施。インターネットを使った取り組みやチームでプランニングし役割分担をはっきりさせ実践する方法、また、学生情報を共有するためのコミュニケーションの取り方など、参考となる報告が数多く行われた。他学科の教員たちが日頃から行っている組織的な授業改善努力を知ることは、互いに大きな刺激となる。今回のFDフォーラムは、教員が自分たちの活動に生かす実質的な情報交換の場となった。

もちろんFD活動は、フォーラムという一時的なイベントではない。そこで、現場で実践し、さらに進化した活動の情報を共有していく予定だ。今回は、地に足の着いた活動を日常的に実践する大切さを再認識するフォーラムとなった。



▲全体の約80%の教員が参加して行われたFDフォーラム。



▲FD活動事例発表の後には、各学科ごとのグループ討議が行われた。

短期大学の全体像を把握したFDを実施

● 2011 年度 第2回常磐短期大学 FD 研究会開催



▲FDから色彩教育まで、講演会は盛り沢山の内容で行われた。

2011年度第2回常磐短期大学FD研究会が、常磐短期大学FD委員会の主催で、3月6日に行われた。

今回、講演を行ったのは、常磐短期大学キャリア教養学科の宮田久美子教授。「色彩教育の展望 —サバティカルを含めて—」というテーマで、FDの定義から、専門である色彩教育の課題や展望まで、幅広い講義が行われた。

最初に取り上げたテーマはFD。中央教育審議会の答申などから、FDの定義や内容の再確認からスタートした。そして、文部科学省のデータを基に短期大学の全体像を把握するため、18歳人口と進学率の推移・短期大学についての概要・短期大学教育の改善等の状況の3点を、グラフデータ等を示しながら解説した。次に取り上げたのがサバティカル。サバ



▲色彩心理学を専門とする宮田教授は、ビジネスに対する色彩の有用性を訴えた。

ティカルとは、教員が研究に専念するために設けられた「特別研究休暇制度」のこと。宮田教授はこの制度を利用し、研修員として2010年度、他大学に在籍し、所属研究室における種々の研究活動や、コミュニケーションをとりながらの高齢者対象の調査などを実施した。講演では、他大学から常磐短期大学を見るという貴重な経験から得たものを、実体験を基に解説。さまざまな違いや、視野の広がりについて語った。そして最後に、色彩教育の現状を説明し、課題や展望について語った。宮田教授は「全教員がくまなくこの壇上に立つよう回数を増やすことで、FDに関する全教員の意識が高まると思う」と、今後のFD委員会の開催にも言及した。

茨城大学と共有する学びのフィールドが誕生

● 茨城大学との単位互換による授業がスタート

常磐大学・常磐短期大学は、茨城大学と単位互換に関する協定を締結した。この締結により2012年度から、茨城大学で行われている、指定された一部の授業を受けることができるようになり、受講した授業は卒業要件単位として認められることになった。

この協定の主な目的は、学生間の交流を盛んにするとともに、教育内容を充実させること。それぞれのキャンパスを行き来して授業を受けるだけでなく、テレビ会議システムを応用した遠隔中継により、リアルタイムで茨城大学の授業を常磐大学のキャンパスで受講できるようになる。

人間科学部現代社会学科3年の岩本東子さんは、「遠隔授業の『フランス文化概論Ⅱ』と面接授業の『人文地理学Ⅲ』を受講しています。茨城大学の授業を受けられるということは、選択する科目の幅が広がり興味のある分野をより深く探求できるので、とても良いことだと思います。また、茨城大学の図書館などの施設も利用できるので、これからどんどん活用しようと考えています。春semesterに受講するのは2科目ですが、これからも可能な限り多く受講したいです。いろいろな教授の授業を受けることで、茨城大学の学びの特徴が分かるのではないかと、とても楽しみです」と、期待感を表していた。



▲岩本さんは、地理学を深く学びたいと話していた。

ストレスへの対応とリラックス動作法をレクチャー

● 心理臨床センター公開講演会を開催



常磐大学心理臨床センター主催による公開講演会が、2月25日に開催された。今回講師としてお招きしたのは、跡見学園女子大学文学部教授で日本心理臨床学会理事長の鶴光代氏。現代人が抱える問題の一つであるストレスについて「やってくるストレスへの上手な対応法ーリラックス動作法の実実際ー」というテーマで講演していただいた。

講演で鶴氏は、ストレスに備えるとはストレスをなくすことではなく、ストレスをマネジメントすることだと語り、ストレスとは、自分を安定させようとして自身が出したエネルギーであると分析。ストレスを感じる要因を、物理的環境・身体的環境・社会心理的環境に分類し、ストレスとの上手なつきあい方を解説した。また、ストレスから解放されるためのリラックス動作法をモデルを使って詳しく説明。さらに、会場の受講生たちにも肩の上げ下ろしなど動作法の指導が行われ、大変有意義な講演会となった。

▲一般の方や関係者など、受講生も一緒にリラックス動作法を学んだ。
 ▲リラックス動作法を指導する鶴氏(右)と、モデルとしてステージに上がったコミュニティ振興学部の水口進教授(左)。

長年にわたり地域の健康づくり推進に貢献

● 人間科学部荒田玲子准教授が健康づくり推進事業功労者表彰を受賞

人間科学部健康栄養学科の荒田玲子准教授が、地域の健康づくりに関して功績のあった方々に贈られる「健康づくり推進事業功労者表彰」を茨城県知事より受賞した。荒田准教授は、常磐大学・常磐短期大学で長年にわたり栄養士の育成に従事するとともに、茨城県栄養士会で10年以上も役員を務めてきた。また、「いばらき健康づくり支援店制度」で支援店に認定された株式会社セブンイレブン・ジャパンとの共同プロジェクトで、健康栄養学科の学生たちとともにヘルシーなお弁当を開発。さらに、茨城県庁生協食堂「ひばり」のメニュー開発プロジェクトでは、メニューを作成する学生たちの指導も行ってきた。こうした一連の事業はさまざまなメディアにも取り上げられ、県民の健康に対する関心度の向上に寄与したことも大きく評価されている。

荒田准教授は「この度の受賞は、常磐大学・常磐短期大学で、長く働かせていただいていたおかげだと思っています。管理栄養士はこれからさらに必要性が高まる職業です。管理栄養士として社会に羽ばたく卒業生たちのためにも、さらに努力していきたいと思っています」と語っていた。

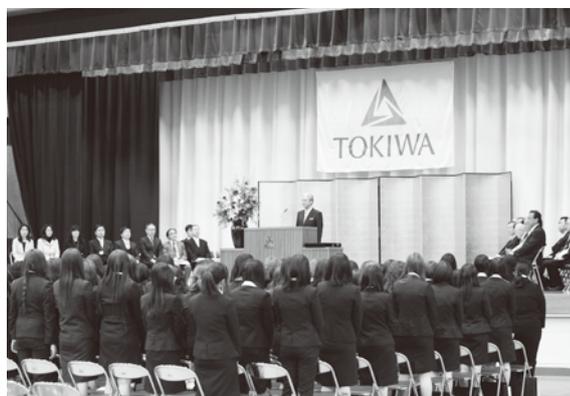


▲荒田玲子准教授

常磐大学大学院・常磐大学・常磐短期大学

News!

輝かしい未来をつくるために



常磐大学・常磐短期大学学長 森 征一 式辞（一部抜粋）

入学式を迎えられた新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。私たちは、世界を視野に入れつつも、地域に軸足を置いて、地域の発展に貢献し、これを世界の未来の建設につなげる、という使命をもった「グローバル大学」を目指して進んでいきます。本学での学びを通して、ぜひ、皆さんの才能を開花させ、輝かしい未来を創るために、それを使ってほしいと思います。本学の使命は一人ひとりの学生を大切に、21世紀を切り開く、立派な人材に育て上げることであり、それが教職員に負わされた責務であると自覚し、私たちは、常磐100余年の伝統を原点として、新入生の皆さんとともに、21世紀の時代を未来に向かって、歩んでいきたいと思っています。



常磐大学 高等学校

News!

常に学ぶ姿勢を持ち続けてほしい

4月7日、常磐大学記念体育館において常磐大学高等学校の入学式が挙行された。354人の新入生は真新しい制服で会場に入り、最初は緊張した様子だったが、担任から呼名されると力強く返事をして、学校長から「本校への入学を許可します」と宣言されると、常磐大生としての自覚を高めていた。学校長式辞の中では浅岡廣一校長より、本校の創業者諸澤みよ先生の建学の精神や校訓についての話があり、常に学ぶ姿勢を持ち続けてほしいという新入生へのメッセージが送られた。

生徒会長の宮田陸君からは歓迎のことばとして、「自分も入学式の時は不安ばかりだったけれど、学校生活が始まれば頼りになる先輩や先生方が何でも相談にのってくれるからすぐに楽しい高校生活が送れるようになる」と励まし、学校の様子や行事の紹介を聞くと新入生の表情も不安から希望へと変わっていった。新入生を代表して木内雄太君が、「未来の日本を担う人材となれるような実力をつけるためにも、充実した3年間を過ごしたい」という頼もしい誓いのことばを述べた。



4月9日には本校第1体育館で対面式が行われ、新入生もいよいよ高校での生活がスタートした。新入生の藤田龍希君から「先を読んで予測することが大切」というマイケル・ジョーダンのことばを引用した個性溢れるあいさつがあり、高校生活への期待を大きくふくらましていた。入学祝いとして生徒会より各クラスにエケベリアの鉢植えが贈られ、クラスで協力して大切に育てていこうという雰囲気も芽生えていた。

智学館中等教育学校

News!

3つのMINDを身に付け、楽しい学校生活を

4月6日に入学式が第一体育館で挙行された。2008年に開校した智学館は6年間一貫教育校で、今年の入学生で5期生になる。

会場から常磐大学高等学校吹奏楽部の演奏が聴こえる中、保護者の方や2~5年次生たちに見守られながら、真新しい基準服に身を包んだ新入生が入場した。緊張した面持ちの新入生だったが、呼名では大きな声で返事ができ、式中の態度もしっかりとした様子を見せた。

石川良一校長からは、「智学館の教育理念『世界的視野で物事を考える』ことができるように、今日から友達、先生方と一緒に3つのMIND（GLOBAL、SCIENTIFIC、SOCIAL）を身に付け、楽しい学校生活を送ってください」と入学生へ歓迎と激励のメッセージが送られた。また、新入生代表を務めた松山実玖さんは、「しっかり学習し、充実した日々を送り、一人ひとりが精一杯努力をし、自分の夢を叶えるよう力を尽くします」と力強く抱負を述べた。

3月の準備登校日で初めて顔を合わせたときから、すぐにお互いに声を掛け合い、まるで以前からの知り合いだったような自然な雰囲気の新入生たち。入学式を終えたばかりの顔にはまだ幼さが残るが、初々しさの中にもしっかりとした面が垣間見られる。成長著しい13歳~18歳の6年間を安定した環境で過ごし、6年間一貫教育による効率的な学びによって、大いに成長してくれることを期待したい。



常磐大学幼稚園

News!

のびのびと遊べる環境こそが大切

2012年度入園式が4月10日に行われた。春の暖かな日差しの中、3年保育3歳児が61人、2年保育4歳児が10人、計71人の子どもたちが保護者に手をひかれ、園門をくぐった。軽やかな音楽とともに、少し緊張した面持ちで入場した子どもたちと保護者の方々。入園許可後、竹中治利園長の挨拶があり、子どもたちのテンポに合わせた優しい言葉で歓迎の意を伝えた。合間に「チューリップ」「おもちゃのチャチャチャ」をみんなで楽しく歌い合っているうちに、最初は不安そうな表情だった子どもたちも、いつの間にかキラキラ輝く笑顔に変わっていった。



来賓を代表して、学校法人常磐大学評議員・同国際学部教授の津田葵先生からご祝辞をいただいた。諸澤みよ先生の開学時の思いである「自立」について触れ、本園でのびのびと遊べる環境こそが大切であることを、温かい表情で伝えてくださった。

閉式後は保育室に移り、祝い菓子を担任から受け取り、うれしさいっぱいの子どもたちであった。みんなが、翌日からの園生活に期待を持ちながら登園できるよう、職員一同、精一杯保育にあたっていく気持ちを再確認した一日となった。



● 2011 年度就職状況報告

2011 年度は東日本大震災の影響を受け活動が停滞する学生なども見受けられ、例年より企業の採用活動が1カ月遅くなったが、5月後半以降は企業の採用活動も例年の動きを盛り返し、学生もその波に乗ることができた。しかし、欧州危機などが追い打ちをかけ、求人倍率は3年連続で低下しており、依然厳しい就職環境であった。

そこで、キャリア支援センターでは個別相談の強化や求人情報の発掘に努めた。求人内容については、一般企業、医療福祉系の企業・団体等の採用姿勢に例年と大きな変化はなかったが、特に医療福祉系を目指した学生が頑張って就職内定率を高めた。さらに強化充実を図った2011年度就職活動対策によって就職内定率については、常磐大学は、前年度より5ポイント上がり85.2%、常磐短期大学では、前年度より3.1ポイント上がり93.4%、幼児教育保育学科では7年連続で就職内定率100%を達成することができた。

■ 2011年度修了生・卒業生の進路状況

(2012年3月31日現在)

研究科・学部・学科			修了生 卒業生	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	大学院 研究科	専攻科	大 学	学 部	その他 各種学校 入学者	その他
常磐大学 大学院	研 究 科	人間科学研究科博士課程（後期）	※1	0	0	※1	-	-	-	-	0
		人間科学研究科修士課程	5	4	0	0	-	-	-	-	1
		被害者学研究科修士課程	1	1	0	0	-	-	-	-	0
		コミュニティ振興学研究科修士課程	1	1	0	0	-	-	-	-	0
大学院合計			8	6	0	1	-	-	-	-	1
常磐大学	人間科学部	心理学科	79	52	8	4	0	2	0	13	
		教育学科	40	31	0	0	1	0	0	8	
		現代社会学科	86	59	5	0	0	0	0	22	
		コミュニケーション学科	74	48	10	0	0	0	0	16	
		健康栄養学科	68	62	1	1	0	0	0	4	
	国際学部	経営学科	83	57	5	0	0	0	0	21	
		英米語学科	44	36	2	0	0	0	0	6	
	コミュニティ 振興学部	コミュニティ文化学科	35	27	2	1	0	0	0	5	
		地域政策学科	36	28	1	0	0	0	0	7	
		ヒューマンサービス学科	55	45	0	0	0	0	1	9	
	大学合計			600	445	34	6	1	2	1	111
常 磐 短期大学	キャリア教養学科		144	116	3	0	0	0	0	25	
	幼児教育保育学科		143	139	1	0	0	0	0	3	
	短期大学合計		287	255	4	0	0	0	0	28	

※は満期退学者

(単位:人)

■ 常磐大学 2011年度 主な就職先

業 種	企業名
製造業	ネスレ日本株式会社
	富士重工業株式会社
情報通信業	株式会社日立アイシーシー
運輸・郵便業	東日本旅客鉄道株式会社
卸売・小売業	関彰商事株式会社
	P & G マックスファクター合同会社
	茨城トヨタ自動車株式会社
	株式会社水戸京成百貨店
金融・保険業	株式会社常陽銀行
	株式会社筑波銀行
	茨城県信用組合
	水戸信用金庫
サービス業	水戸商工会議所
	日清医療食品株式会社
複合サービス事業	JAグループ（JA水戸、JA土浦、JAひたちなか ほか）
医療・福祉	財団法人茨城県メディカルセンター
	医療法人社団筑波記念会筑波記念病院
教育・学習支援業	茨城県公立小学校、千葉県公立小学校、いわき市公立幼稚園 ほか
	防衛省・陸上自衛隊、警視庁、茨城県警察本部
公務 [保安職] [行政事務]	茨城県庁、栃木県庁、ひたちなか市役所、鉾田市役所、大子町役場 ほか

■ 常磐短期大学 2011年度 主な就職先

業 種	企業名
製造業	日立交通テクノロジー株式会社
	リコープリンティングシステムズ株式会社
電気・ガス・熱供給・水道業	筑波学園ガス株式会社
情報通信業	茨城日立情報サービス株式会社
	株式会社日立データセンター
卸売・小売業	日通商事株式会社
	関東国分株式会社
	株式会社 JR 東日本リテールネット
	茨城トヨペット株式会社
	株式会社 ケーズホールディングス
金融・保険業	株式会社水戸京成百貨店
	株式会社三井住友銀行
	株式会社常陽銀行
	株式会社福島銀行
サービス業	日産観光株式会社
複合サービス事業	JAグループ（JA水戸）
医療・福祉	公益社団法人地域医療振興協会村立東海病院
	株式会社日本医療事務センター
教育・学習支援業	アクアワールド茨城県大洗水族館
	日立市公立保育所、鉾田市公立保育所、常陸太田市公立幼稚園

学校法人常磐大学 2012年度役員等一覧

(2012年4月1日現在)

理事長	諸澤 英道	常磐大学大学院人間科学研究科教授、元同大学長
学長/理事	森 征一	常磐大学・常磐短期大学長
常任理事	竹中 治利 保坂 泰夫 堀口 秀嗣	
理事	宮田 武雄 渥美 東洋 佐久間 正祥 諸澤 篤子 高祖 敏明 久保 文明	茨城県立産業技術短期大学校長、元茨城大学長、同大学名誉教授 京都産業大学大学院法務研究科教授、中央大学名誉教授、元(学)中央大学理事 水戸赤十字病院長 常磐大学教育実践研究所長、常磐大学国際交流語学学習センター長 (学)上智学院理事長、(学)上智学院評議員、上智大学総合人間科学部教授 東京大学法学部教授、アメリカ学会副会長
監事	荒川 誠司 若山 実	弁護士、荒川法律事務所 税理士、若山実税理士事務所
評議員 学識経験者	村田 幸子 宮田 武雄 佐久間 正祥 石渡 千恵子 師岡 文男 橋本 五郎 久保 文明 遠山 勤 川俣 勝慶 坂本 達哉 田中 俊郎	元NHK解説委員 茨城県立産業技術短期大学校長、元茨城大学長、同大学名誉教授 水戸赤十字病院長 石渡産婦人科病院副院長、元茨城県教育委員会委員長 上智大学文学部教授、GAISF 国際スポーツ団体総連合理事 読売新聞特別編集委員 東京大学法学部教授、アメリカ学会副会長 (財)常陽地域研究センター理事長、元(株)常陽銀行代表取締役専務取締役 (財)茨城県国際交流協会理事長 慶應義塾大学教授、元慶應義塾常任理事 慶應義塾大学名誉教授、関西大学客員教授
教職員	浅岡 廣一 津田 葵 石川 良一 渡邊 光雄 内山 竹彦 秦 順一	常磐大学高等学校長 常磐大学国際学部教授 智学館中等教育学校長 常磐大学人間科学部教授 常磐大学人間科学部教授 常磐大学人間科学部教授
卒業生	池田 正則 中崎 啓子 後藤 政子	常磐大学同窓会会長 常磐短期大学同窓会みわの会会長 常磐大学高等学校常磐学園同窓会副会長
学生・生徒の保護者	内山 克三 松本 隆 荘司 知明	常磐大学後援会会長 常磐短期大学父母の会会長 常磐大学高等学校PTA会長
顧問	阿部 充夫 Gerald L. Curtis 中西 元男 Hans J. Marx	元(財)放送大学教育振興会会長、元文部事務次官 コロンビア大学教授 (株)PAOS 代表取締役社長 (学)南山学園理事長、南山大学附属小学校長、元南山大学長

入学定員と在籍者数

(2012年5月1日現在)

研究科・学部・学科	入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数
常磐大学 大学院				
人間科学研究科博士課程(後期)	6	18	1	3
人間科学研究科修士課程	10	20	8	18
被害者学研究科修士課程	20	40	4	12
コミュニティ振興学研究科修士課程	20	40	3	7
常磐大学 人間科学部				
心理教育学科	-	0	-	2
心理学科	90	370	79	345
教育学科	40	164	44	168
現代社会学科	80	328	69	327
コミュニケーション学科	80	328	69	296
健康栄養学科	80	328	81	330
常磐大学 国際学部				
国際関係学科	-	0	-	1
経営学科	70	288	75	290
英米語学科	60	246	30	144

学部・学科	入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数
常磐大学 コミュニティ振興学部				
コミュニティ文化学科	60	252	23	157
地域政策学科	60	252	49	226
ヒューマンサービス学科	80	336	44	221
常磐短期大学				
キャリア教養学科	140	280	89	187
幼児教育保育学科	140	280	141	281
常磐大学高等学校	440	1480	354	997
智学館中等教育学校	120	720	13	202
常磐大学幼稚園				
3歳児	55		61	61
4歳児	60	175	10	50
5歳児	60		1	45

(単位：人)

学校法人常磐大学新規採用職員



国際交流語学学習センター
助教 稲葉 和栄
〈日本語教育、第二言語習得、接触場面研究〉
お茶の水女子大学大学院博士前期課程人間文化研究科言語文化専攻日本語教育コース修了。
国際交流基金日本語試験センター研究員。



国際交流語学学習センター
助教 井口 幹夫
〈応用言語学、異文化間コミュニケーション〉
ウォーリック大学大学院教育学博士課程 (EdD) 修了。2008-2010年ウォーリック大学日本語教育非常勤講師。



常磐大学高等学校
教諭 角野 裕平
〈数学〉
茨城大学理学部理学科卒業。



智学館中等教育学校
教諭 岸 義貴
〈英語〉
Teacher College, Columbia University 修士課程修了。



教学事務室
任期付教務助手 川崎 彩香
常磐大学人間科学部健康栄養学科卒業。



教学事務室
任期付教務助手 沼田 佳菜子
常磐大学人間科学部健康栄養学科卒業。

●所属、職名、氏名、〈専門もしくは担当教科〉、最終学歴・略歴

編集後記

2012年3月に卒業した大学生の就職内定率が前年を上回ったと、厚生労働省が発表しました。しかし、依然として厳しい状況が続いています。キャリア支援センターによるサポート体制を強化するとともに、全教職員が連携して、より充実した就職活動環境づくりに取り組みたいと思います。



Information

お知らせ

●●● ALL TOKIWA DAY 2012 ●●●
- 七夕フェスティバル開催 -

在校生・保護者、卒業生、地域の方々、どなたでも参加できます。多くの方にお集まりいただき、交流を深め地域を元気にしましょう。ぜひ、ご来場ください。

- 7月7日(土) 11:30~17:00
- 常磐大学キャンパス

【主なイベント】

TOKIWA のマスコットキャラクター投票・決定
豪華景品大抽選会
フリーマーケット
学生・生徒・園児によるステージ発表
オリジナル手ぬぐいプレゼント (先着 500 名様)



●地元 B 級グルメ



●バルーンアート



●七夕飾り



●夏祭り子ども縁日

イベント内容の詳細は、ホームページをご覧ください。

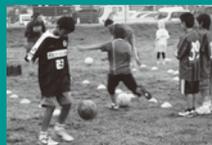
<http://www.tokiwa.ac.jp/tanabata/>



●●● COLLABORATION DAY ●●●
常磐大学 & 水戸ホーリーホック
コラボデー開催

今年で3年目を迎えるコラボデーが開催されます。学生・生徒・園児が水戸ホーリーホックの試合運営に参加・協力します。また、国際学部経営学科学学生考案のイベント(フェイスペイントなど)を実施し、スタジアムを盛り上げます。

- 9月2日(日) 18:00 キックオフ
- 2012 Jリーグ ディビジョン2・第32節
水戸ホーリーホック vs ガイナーレ鳥取
- ケーズデンキスタジアム水戸



(写真は昨年イベントの様子)



寄付者ご芳名

(敬称略) [2012年1月～3月受付分] ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。

■教育実践研究所の行う事業支援 (個人)

430,000円 諸澤 篤子* 累計寄付金額 430,000円

■諸澤幸雄奨学金の創設・充実 (個人)

700,000円	坂井 知志*	上原 朋子	小野 友子*	常井 泰法	近藤 令子
常磐大学 2011年度卒業生一同	20,000円	遠藤 英雄	越生 登喜子	谷島 綾	坂本 伸昭
350,000円	会田 賢司*	大澤 亮	6,000円	山田 晋	坂本 雅子*
竹中 治利*	飯島 久*	大平 美恵子	柳原 優子*	吉村 かつ子	清水 敏成*
300,000円	池田 和子*	大森 理英	和田 勤子*	2,000円	鈴木 操子
常磐短期大学 2011年度卒業生一同	石崎 聡一郎*	小野田 涼磨	5,000円	赤津 晴子*	鈴木 菜子
200,000円	石田 脩平	片山 玉枝	井坂 晴代	後藤 倫子	鈴木 祐子*
楠 英子*	石橋 恵理子	川又 ヒサ	一枚田 美賀子	佐藤 典子	関 いづみ*
195,000円	石橋 美香子	川又 葉子	今井 啓子	1,200円	関 和子
中村 和彦*	石引 尚子*	菊池 勲	大高 きみ子	中田 真也	関本 幸子
130,000円	伊藤 健明*	菊地 恵一	大高 やす子	1,000円	高石 寿美
中崎 啓子*	小原 茂一郎*	菊池 勝	大塚 真佐枝	片岡 洋子	高杉 英雄
100,000円	角田 等*	櫛田 純子	木内 初子	三平 かおる	高橋 弘子
粕谷 雄二	加藤 和子*	工藤 美枝子	小林 きよ	匿名	高畑 徳雄
90,000円	加藤 怜子*	栗田 正夫	式守 秀輝	芳名のみ公表	田口 清一郎
池田 正則*	久保田 千江*	黒澤 由江	清水 諒子	阿久津 則子	千葉 茂*
60,000円	小金沢 君代*	後藤 峰征	高橋 トシ子	阿部 千秋	千葉 利江
望月 節子*	齋藤 次男*	西連寺 照子	棚井 克宏	井坂 義博*	土子 久美子
54,000円	椎名 よし子*	西連寺 律子	匿名	石川 俊太郎	津村 勝之
大槻 行徳*	鈴木 よし*	桜井 水江	長池 涼太	石田 一代	寺田 満
関 敦央*	関根 久美子*	沢田 和子	仁平 由美子	石田 喜美*	照沼 たか子*
50,000円	染谷 とく*	鈴木 桐子	埴 朋子	市毛 綾子	遠山 政彦*
大里 登紀子*	高崎 心学	鈴木 邦和	原 徳子	伊藤 有紗	鴫田 汐美*
菊池 尚*	高山 靖子*	関根 照和	福田 敏雄	井上 しのぶ	戸田 幸子
40,000円	常恒 秀吉	染谷 佳子	星野谷 由美子	上田 久恵	飛田 正義
出沼 貞子*	富山 つや子*	高田 千代子	見代 真季子	打越 義久*	永井 晴夫
鈴木 裕士*	富山 節子*	塚田 なみ	馬上 春奈	大場 琴枝	仲沢 愛美
堤 やへ*	長山 節子*	寺門 隆子	安 みつ江	岡田 栄	名知原 敏子
30,000円	西 美恵子*	寺門 治久*	八巻 征司	岡部 晶	野崎 和紀
江幡 重美*	松井 節子	豊崎 桂子	4,000円	鬼沢 伸江	平戸 政明*
岡部 康	宮本 美智子*	西村 時子	木村 奈穂子*	表 栄子	蛭田 浩紀
河原 高子	山内 恵子*	野中 泰孝	佐藤 誠一*	皆藤 景子	堀口 秀嗣*
栗原 とし子	吉田 雅幸*	鳩貝 早苗	3,000円	皆藤 信幸	増子 勝己
佐藤 麻由*	15,000円	松島 八重	石井 孝子	勝部 善則	益子 純一
27,000円	打越 洋*	谷田部 拓司*	石井 通代	金田 由美子*	松浮 順子
清宮 一彦*	小林 貴美*	山崎 政子	岩瀬 隆	金子 敬司	水庭 聖
26,000円	佐河 さなえ*	横山 将太郎	櫻村 美代子	河口 公一*	水庭 雅恵
久松 雄大*	笹村 治子*	綿引 健夫	金久保 吉之	川崎 裕子	守山 悠介
25,000円	宮本 正弘*	渡部 等	黒沢 明実	川又 実千代	山口 美香
秋山 絹江*	藻垣 栄子*	和知 君代	小林 水保	工藤 典人*	愈 暁軍
根本 富也*	14,000円	齋藤 泉美	佐藤 宏太	古神 ゆき子	吉川 みどり
21,000円	大畠 健一郎*	田村 悦子*	佐藤 勇一	越川 律子	吉澤 美紀
	10,000円	7,000円	菅沼 ひろ子	小松崎 ヒサ子	吉田 健一
	飯塚 絹子*		匿名	近藤 誠	渡辺 廣子
	石田 康子				

累計寄付金額 71,252,026円

◎複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付し、金額は累計額を表示いたしました。

【寄付金の申し込みおよび問い合わせ】

学校法人常磐大学 会計経理課

TEL. 029-232-2759 E-mail: kifu@tokiwa.ac.jp

※寄付募集の詳細については、ホームページをご覧ください。